

総会経過概要

第73回全国労働委員会連絡協議会総会は、平成30年11月8日(木)から9日(金)にかけて、メルパルク東京において、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長のほか、各事務局職員を含め、約520名の参加者により開催された。

8日には、山川隆一全国労働委員会連絡協議会会長(中労委会長)の開会挨拶の後、来賓として高階恵美子厚生労働副大臣が挨拶をされた。

規約により山川会長が議長となり、まず公労使各側副議長の指名が行われ、公益側副議長に三輪和雄委員(中労委)、労働者側副議長に小出裕一委員(宮城)、使用者側副議長に横山圭介委員(岡山)がそれぞれ指名された。

続いて、山本眞弓運営委員長(中労委・公)から前回総会以降の運営委員会審議経過についての説明が行われ、了承された。また、苧谷秀信全国労働委員会連絡協議会事務局長(中労委事務局長)から、労働委員会の活動状況についての報告が行われた。

さらに続いて、「平成期における審査事件の潮流」と題して、諏訪康雄氏(前中央労働委員会会長)による講演が行われた。

9日には、議題審議が行われた。

まず第1議題として、「都道府県労働委員会が直面する諸課題の共有とその解決に向けた検討組織の設置について」(近畿ブロック公労使提案)の審議が行われ、全労委連絡協議会運営委員会場で検討の場を設けて、協議することとなった。

提案理由説明

井上 英昭(大 阪・公)

事例発表

浅水 正(北海道・公)

菅谷 雅生(神奈川・労)

宮下 恵子(東 京・使)

上野 茂伸(福 岡・労)

長瀧 正隆(高 知・使)

向山 富雄(三 重・公)

続いて、第2議題として、「同一当事者間において救済申立てが複数回繰り返される場合の不当労働行為事件への対応について」(九州ブロック公労使提案)の審議が行われた。

提案理由説明

田島 啓己(沖 縄・公)

意見発表

豊永 寛二(徳 島・公)

池内 正博(滋 賀・労)

神 秀治(北海道・使)

網戸 茂(山 口・労)

安藤 正弘(岐 阜・使)

笹原 恵(静 岡・公)

議題審議終了後、次期運営委員の指名が行われ、山川会長の閉会の挨拶をもって総会は終了した。

総会終了後、第1回運営委員会が開催され、運営委員長に荒木尚志委員（中労委・公）が、副運営委員長に盛誠吾委員（神奈川・公）がそれぞれ選出された後、平成31年の総会に関する事項、今後の労働委員会の在り方に関する検討の場等について、協議が行われた。